

苫小牧港開港50周年

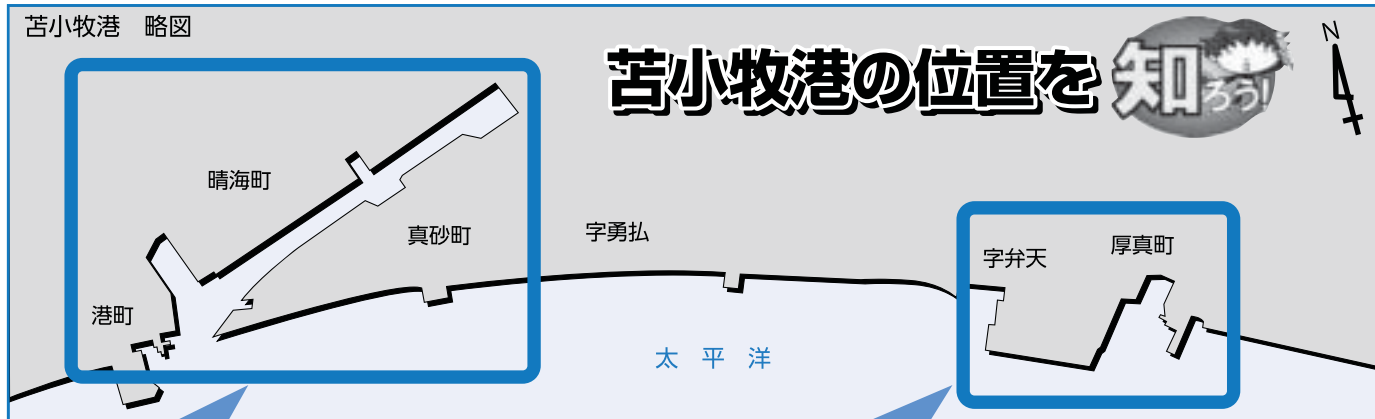
未来へ！みなと大作戦 ~Gateway to the future~

詳細 企業立地課 ☎32-6438 苫小牧港管理組合 ☎34-5551



苫小牧港ってどんなところ？

国際拠点港湾として、産業拠点都市・苫小牧の発展を支えてきた苫小牧港ですが、身近だからこそ「東港ってどこ？」など、知っているようで知らないこともあるかもしれません。港のこと、ちょっと学んでみませんか？



日本初の大規模掘込式港湾 西港区

苫小牧市街に近接する西港区は、当時の技術では難しいとされていた大規模な掘込工事を経て、昭和38年4月25日に供用が開始されました。現在は9つのふ頭を持つ流通港湾として、日用雑貨から工業原料などさまざまな貨物を受け入れています。



▲第1 船入港式の様子

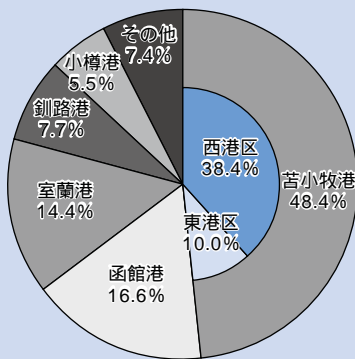
国際コンテナターミナルを持つ 東港区

苫小牧東部地域の開発計画に沿って建設され、着工からわずか4年の昭和55年に供用が開始されました。国際コンテナターミナルとして、道内の国際コンテナの約8割を扱う中央ふ頭があります。(厚真町にある周文ふ頭を含む)



▲国際コンテナターミナル

数字で苫小牧港を知ろう



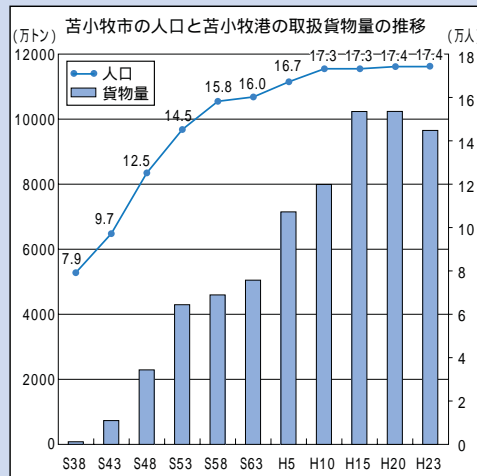
北海道を引っばる港

道内港湾取扱貨物量の約半分を苫小牧港が担っています。海の玄関口として、北海道全体の産業にとっても、欠かせない港です。

◀平成22年度 港湾取扱貨物量全道比較

まちを育てた港

苫小牧港開港以来、港湾貨物取扱量と人口は、同じように成長しています。港の成長が人や企業を呼び込み、まちを大きくしてきたことが分かります。



「未来へ！みなと大作戦」では、みなさんにもっと港に親んでもらえるような情報を発信していきます。6月号では、港にやってくる「船」についてご紹介します。